

市議会

\ 伊勢崎のさきがわかる /

いせさき

第4回
定例会
No.94

2023.10.16

令和4年度伊勢崎市一般会計歳入歳出決算認定についてなど58議案を可決



2	定例会の概要	12	常任委員会審査
2	主な議案の概要	13	特別委員会調査
3	一般質問	14	議案等の議決結果
9	決算特別委員会審査	16	各種お知らせ

市長から提出された議案 58件

- 専決処分 1件
- 条例関係 5件
- 補正予算 2件
- 決算認定 11件
- 人事案件 22件
- その他 17件

●8月31日 本会議

- ・議席の一部変更
- ・会期決定(9月28日までの20日間)
- ・会議録署名議員の指名
- ・市長提出議案(令和5年度伊勢崎市一般会計補正予算(第5号)の専決処分の承認について1件)を承認
- ・市長提出議案(令和4年度伊勢崎市一般会計歳入歳出決算認定についてなど11件)の提案理由の説明

●9月5日 本会議

- ・決算議案に対する質疑
- ・決算特別委員会を設置
- ・決算特別委員会に議案を付託
- ・決算特別委員会の委員を選任
- ・委員長、副委員長の互選

●9月6日 本会議

- ・一般質問(質問者：議員6人・答弁者：市長、教育長及び所管の部長)

●9月7日 本会議

- ・一般質問(質問者：議員7人・答弁者：市長、教育長、選挙管理委員会)

委員長及び所管の部長

●9月11日・12日 決算特別委員会

- ・議案の審査 11件

●9月14日 本会議

- ・市長提出議案(伊勢崎市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例案など24件)の提案理由の説明
- ・議案に対する質疑
- ・所管の常任委員会に議案等を付託

●9月15日 総務委員会

- ・議案の審査 4件
- ・請願の審査 1件

●9月19日 文教福祉委員会

- ・議案の審査 12件
- ・請願の審査 1件
- ・所管事務調査

●9月20日 経済市民委員会

- ・議案の審査 6件
- ・所管事務調査

●9月21日 建設水道委員会

- ・議案の審査 2件
- ・所管事務調査

●9月28日 本会議

- ・決算特別委員会の委員長から審査結果の報告
- ・常任委員会の委員長から審査結果の報告
- ・市長提出議案(農業委員会委員任命の同意についてなど22件)の提案理由の説明
- ・議案の審議(結果は14ページに記載しています)

主な議案の概要

伊勢崎市印鑑条例の一部を改正する条例案

移動端末設備を利用した証明書コンビニ交付サービスによる印鑑登録証明書の交付申請の手続を定めることに伴い、改正の必要を認めたものです。

伊勢崎市福祉作業所条例の一部を改正する条例案

伊勢崎市あずま福祉作業所において実施している在宅の重度心身障害者に対するデイサービス事業を伊勢崎市桑の実福祉作業所に統合することに伴い、改正の必要を認めたものです。

令和5年度伊勢崎市一般会計補正予算(第6号)

改正の必要を認めたものです。

歳入歳出予算にそれぞれ9億574万3000円を追加し、その総額を839億7955万1000円とするものです。内容は、歳入では、普通交付税の交付額の決定に伴う地方交付税の増額、電子地域通貨の発行に伴う諸収入の増額のほか、財政調整基金繰入金の減額が主なものです。歳出では、前年度事業費の確定に伴う国及び県への返納金の追加や、電子地域通貨事業の増額、道路整備事業の増額及びふくしプラザの改修に係る設計に伴う高齢者福祉施設管理運営事業の増額が主なものです。また、2件の債務負担行為の追加及び歳入歳出予算に関連して地方債の補正を行うものです。

公の施設の指定管理者の指定について

施設	指定管理者
伊勢崎市青少年育成センター	公益財団法人 伊勢崎市公共施設管理公社
伊勢崎市文化会館	
伊勢崎市境総合文化センター	
伊勢崎市華蔵寺公園遊園地	
伊勢崎市民プラザ	
伊勢崎市児童センター	社会福祉法人 伊勢崎市社会福祉協議会
伊勢崎市境児童センター	
伊勢崎市ふくしプラザ	
伊勢崎市ふれあいセンター	
伊勢崎市みやまセンター	
伊勢崎市高齢者生きがいセンター	伊勢崎市福島町区
伊勢崎市境地域福祉センター	
伊勢崎市ちびっこセンター	社会福祉法人 伊勢崎市愛のはぐるま会
伊勢崎市福祉作業所	社会福祉法人 桑の実福祉会

指定期間は、令和6年4月1日から令和11年3月31日まで

一般質問 市政のココを聞きたい

西小保方町交差点改良の考えは

●9月7日 本会議

一般質問(質問者：議員7人・答弁者：市長、教育長、選挙管理委員会)

県道桐生伊勢崎線拡幅実現に向けた県への働きかけについて

問 本路線拡幅について、進捗をどう捉え、県への働きかけを進めているか。また、スマート伊勢崎周辺の交通渋滞を考え、西小保方町交差点の交差点改良が急務と思うが、考えは。

答 伊勢崎市都市計画マスタープランで広域的な交流促進及び本市の産業振興等につながる広域幹線道路に位置づけられており、広域交流軸を担う道路としてその整備促進が必要と考えています。また、群馬県緊急輸送道路ネットワーク計画でも第一次緊急輸送道路に指定されており、本市と桐生・みどり地域を結ぶ重要な広域交通軸であるため、本年8月に開催した令和6年度群馬県当初予算知事要望等に伴う県議会議員説明会で、県道桐生伊勢崎線バイパスの早期事業化の要望と併せて、本市の政策課題の一つとして情報共有を行いました。今後はぐんま・県土整備プランの次回改訂時に再度本路線の拡幅整備が位置づけられるよう、県に対して様々な機会を捉えて働きかけを行っていきます。また、西小保方町交差点の改良は、ぐんま・県土整備プラン2020でも着手に向けて検討する事業に位置づけられていますが、交差点付近の交通渋滞の解消が実現されるよう、

伊勢崎クラブ 田島 勉



動画はこちら

県に対して早期事業化の働きかけを行うていきます。

(仮称)天神沼公園について

問 天神沼は用水の整備により公園として生まれ変わるうとしていますが、整備の進捗状況は。

答 地元の区長をはじめとする皆様の意見を可能な限り聴取した後、実施設計を行い、未永く愛される公園となるように計画していきます。また、整備着手時期は、現在、同じ東都市計画区域内で実施している(仮称)あずま南小学校区近隣公園整備の進捗状況及び本市全体の公園等の整備計画を勘案し、検討していきます。

その他の質問

●田部井町プラスチック加工工場の火災発生後の状況について



未永く愛される公園を

いせさき花火大会における有料観覧席導入の経緯は

●9月6日 本会議

一般質問(質問者：議員7人・答弁者：市長、教育長、選挙管理委員会)

いせさき花火大会について

問 夏の風物詩となる花火大会が、8月6日に本市においても盛大に開催された。昨年度までは有観客エリアを一部制限して行われたが、今年度は、多くの方々が来場し花火大会を楽しんだと思う。また、新たに有料観覧席を導入した。その理由は経費が高騰していることが背景にあると考えられるが、実際の経費の収支状況と、導入するに至った経緯は。また売上状況は。

答 本年度花火大会を開催するに当たり、打ち上げ経費や警備費用等が増加し全体経費が昨年度比で約6%の増加になると見込まれる状況から、打ち上げ発数の縮小等を検討しました。しかし、花火大会を楽しむにされている方も多数いることから、有料観覧席を検討し、収益で開催規模を維持するため導入しました。販売価格の設定は前橋市等近隣自治体を参考とし、2人席を8000円、4人席を1万6000円、6人席を2万2000円と設定し、有料席の販売収支として約200万円の収益を見込める価格としました。売上状況は、販売開始当初は多くの方が購入される状況でしたが停滞する時期も見られたため、ウェブ販売や電話販売に加え文化観光課窓口とスマート伊勢崎での販売を実施しました。併せて

伊勢崎クラブ 新井 智



動画はこちら

県外への周知として本庄市、深谷市と連携し、観光協会のホームページとSNSでの発信をはじめ、ふかや花園プレミアムアウトレットのアジタルサイネージへの掲出により販売促進に努め、販売収支は2万2000円のプラスとなりました。

有料観覧席を導入し、市民の声や様々な課題もあつたと思うが、開催方法等の検証から明らかになった課題への解決方法及び今後の対応は。

答 有料観覧席を購入した方からは大変好評をいただきましたが、駐車場等の付加価値を希望する声もありました。販売結果として6人席が多く残った状況から席種の工夫等により、今後の有料観覧席の設置には購入者のニーズに応えられるよう努めていきます。



多くの方々が楽しんだ花火大会



伝統文化の保護や継承、祭り等に対する支援策は

地域伝統文化の保護について

問 本市の有形民俗文化財である波志江の屋台は雨こいや五穀豊穡を願って引き出され、波志江町では波志江祇園祭として実施されている。このような由緒伝統ある文化を守ることは、地域の活性化や人材育成にも重要であるが、伝統文化の保護や継承、催し物や祭りに対する補助制度も含めた支援策は。

答 行政区の催しに係る費用は主催者の費用負担による自主運営をお願いしているため、助成制度の新設は考えていません。文化財保護の観点から、屋台の修理やおはやしの継承等を行う際には費用の一部を補助しており、また文化庁、県及び民間団体による補助制度を紹介し、市が申請の支援を行っています。文化財の保存、継承等を確実に、将来へお祭りが継承されるよう支援していきたいと考えています。

小中学校の体育館について

問 酷暑が続く中、児童・生徒は授業や行事や部活動を制約を受けて行っている。また学校の体育館は一般市民にも開放され、さらに避難所としても指定されており、夏の水害などに備え空調設備設置は喫緊の課題と考える。さらに市民の方からも空調設備設置を求める声が多くある。市民の健康や生命



伊勢崎クラブ 山越 清彦



動画はこちら

を守るためにも設置方針を示していただきたいが、導入の方針、方向性は。

答 設置に向けて空調方式や必要能力の選定、整備の方法及び規模など具体的な検討を進めていきます。

問 和式トイレを利用できない児童がおり、また、健全育成のためにも体育館への洋式トイレ設置が必要と考えるが、設置のない体育館への設置方針は。

答 今後、伊勢崎市学校施設長寿命化計画(個別施設計画)に基づく大規模改修を行う際に進めていきます。

その他の質問

- いせさき花火大会の新たな取組について
- 移住施策について
- 波志江スマートIC周辺の土地利用について



将来へ伝統文化の継承を

中学生を対象としたピロリ菌感染の無料検査導入は

中学校生徒を対象としたピロリ菌検査について

問 ピロリ菌の感染を早期に発見し胃がんの発症を予防する目的で自己負担のない中学校の健康診断等で検査する自治体が増えている。胃がんの発症を防止するため、中学生を対象としたピロリ菌感染の公費助成による無料検査を導入すべきと思うが、考えは。

答 若い世代でのピロリ菌の除菌が、胃がんの予防効果が高いと言われます。学校での集団検診や医療機関での個別検診等の検査実施体制及び陽性判明後のフォロー体制等を慎重に考える必要があり、無料検査の導入は、市教育委員会や伊勢崎佐波医師会の意見を伺うとともに、実施している県外他市等の状況を調査し、研究していきます。

新生児の難病検査費用に対する助成について

問 新生児マススクリーニング検査のうち公費負担の対象外である重症複合免疫不全症や脊髄性筋萎縮症は、早期発見により症状進行の妨げや救命が可能となることから新生児期の検査が重要だが、任意検査費用助成の考えは。

答 先天性代謝異常などの20種類の疾病は、県が費用を全額負担し検査を実施していますが、重症複合免疫不全症



新生児難病検査への追加助成を

や脊髄性筋萎縮症は、任意検査のため費用は全額自己負担となっています。近年は医学の進歩により、この2疾病は、早期に発見して適切な治療を受けることで、症状の改善や進行の抑制ができるようになってきているため、現在、国はこの2疾病について、検査の精度や治療体制の検証を進め、公費での検査に加えるか否かの検討を行っています。本市の検査費用の助成については、国の動向を注視するとともに、疾病発見後の支援体制を含め、伊勢崎佐波医師会の意見を伺いながら、研究していきます。

その他の質問

- 男性職員の育児休業取得について
- ことども誰でも通園制度(仮称)の実施を見据えた考えと取組について
- 大型火葬施設の導入について

高齢者に対する支援事業は

高齢者政策について

問 高齢者自身とその家族を含めて地域全体で認知症に対応しなければならぬと思う。国では本年6月に認知症基本法が成立した。私も後期高齢者であるが、同世代の身近な人がいつの間にか認知症を発症してしまつた。「認知症は誰もがなりうるものです。家族や身近な人が認知症になることなども含め多くの人がとって身近なものとなっています。」と認知症施策大綱にもうたわれている。本市では本年4月に高齢者が生き生きと活躍できる条例が施行されたが、高齢化社会に対する認知症基本法についての考えは。

答 認知症基本法は、国民一人一人がその個性と能力を十分に発揮し、相互に人格と個性を尊重しつつ支え合いながら共生する活力ある社会の実現を推進する目的として制定されました。今後は、市民一人一人が認知症に対しての正しい知識と理解を深めるとともに、国が立ち上げる予定の認知症施策推進関係者会議や今後策定される認知症施策推進基本計画等の動向を注視し、本市の状況に応じた施策を検討し、展開していきます。

問 高齢者の活躍に対する所感は。

答 就労をはじめ生涯学習、地域活動



高齢者が生き生き活躍できる社会を

世代間交流などの個人の希望と適性に合った多様な分野で、高齢者の方々が習得した知識と技能を最大限に発揮して活躍できる社会の実現を目指すことが必要と考えています。

問 高齢者に対しての支援事業は。

答 伊勢崎市社会福祉協議会と連携し、地域において高齢者の健康づくり、友愛活動、ボランティア活動などの多様な活動を担っている老人クラブの活性化計画の策定を予定しているほか、高齢者のニーズや実態把握のためのアンケート調査を行う方針です。

その他の質問

- ネーミングライツ事業について
- 教育行政について
- グラウンドゴルフ場の暑さ対策について



有志 会 田村 幸一



動画はこちら

認知症の方やその家族に対する支援体制は

認知症対策について

問 認知症は、早く気づいて適切に対応することで症状を軽減できたり進行を遅らせたりできるため、対策や支援体制づくりが急務である。そこで本市で実施している認知症に対する対策は。

答 認知症対策として医師、看護師、社会福祉士、介護福祉士及び言語聴覚士で構成する認知症初期集中支援チームを配置しています。認知症の方や御家族への支援は、GPS機器を貸し出す徘徊高齢者等位置情報サービス、徘徊高齢者等事前登録制度を実施しています。また、認知症の正しい知識や認知症の方への接し方を学び、認知症の方や御家族を地域で見守る認知症サポーターを養成するため、認知症サポーター養成講座を開催しています。新たな取組として、本年度からは小学校高学年を対象とした認知症キッズサポーター養成講座を、小学校低学年の親子を対象とした親子認知症サポーター養成講座をそれぞれ開催しました。

問 住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるような支援体制、家族の精神的苦痛の軽減等を視野に入れた今後の支援体制づくりは。また、認知症個人賠償責任保険制度を導入し、費用を全額負担している自治体もあり、制度



地域全体で見守り、支援する体制を

加入により個人賠償がなくなり本人、家族の負担軽減につながると思うが、導入についての考え方は。

答 本年度は認知症の方や御家族との交流会の開催を予定しているため、いまだく意見を、認知症になっても安心して地域で生活できる今後の施策に生かしながら、地域全体で見守り、支援していく体制づくりに引き続き取り組んでいきます。また、認知症高齢者等個人賠償責任保険は、認知症の方や御家族が安心して生活できる環境の整備を図ることを目的とし、本市で実施している支援を補完する効果も想定されることから、来年度からの導入に向けて、検討していきます。

その他の質問

- 職員について
- 自治会役員について



伊勢崎クラブ 椎名 三生



動画はこちら



带状疱疹予防接種費用助成対象年齢引き下げの考えは

带状疱疹予防接種費用助成について

問 带状疱疹は加齢、疲労やストレスなどで免疫力が低下すると発症し、発症率は50歳以上で増加すると言われてい。本市で本年4月から始まった予防接種費用助成の対象者は満65歳以上だが、今後の取組として、対象年齢を引き下げる考えは。

答 带状疱疹ワクチン効果の持続期間が生ワクチンで5年、不活化ワクチンで9年とされているため、本市ではワクチン効果が十分期待される65歳以上を助成対象としましたが、県内で費用助成を既に実施し、または本年度内に開始する予定の33市町村のうち、本市と玉村町以外は全て対象年齢を50歳以上としていることに加え、伊勢崎佐波医師会等からも対象年齢引き下げの要望があるため、本市でも来年度以降、対象年齢を50歳以上とする方向で関係機関との調整を行ってまいります。

地球温暖化対策について

問 温室効果ガス削減目標達成のためには企業への取組が不可欠と考えるが、これから新たに造成する新規産業団地内に大型の太陽光発電等の再生可能エネルギーを導入し、(仮称)ゼロカーボン産業団地とする環境に特化した産業団地の誘致を計画する考えは。



伊勢崎クラブ 飯島 学



動画はこちら

答 ゼロカーボン産業団地は、全国的に見ても実例がありません。今後も国や他の自治体の動向を注視し、計画予定の産業団地におけるゼロカーボンの可能性を調査研究していきます。

子どもまんなか応援サポーターについて

問 子供たちへの支援は、個人や団体企業等が子供たちのために向き合っていくことが重要であると思う。子供に関わる施策は多岐にわたっており、行政としてのビジョンを示すためにも子どもまんなか応援サポーターを宣言することは意義があると思うが、考えは。



接種費用助成の対象年齢引き下げを



伊勢崎クラブ 柳 敦志



動画はこちら

答 子どもまんなか応援サポーター宣言をすることは市の姿勢を示す有効な手段の一つとして考えられることから十分検討していきます。

部活動地域移行への今後の方針は

部活動地域移行について

問 文部科学省は令和2年9月に、令和5年度から公立中学校での休日の部活動の地域移行を始めると発表した。地域移行により活動の減少に歯止めをかけられ、また、教員の働き方改革を推進しようとする動きも背景となっているが、これまでの取組と実績は。

答 昨年度の伊勢崎市部活動地域移行検討委員会では、地域移行に係る課題を明らかにし、本年度は生徒の多様なニーズに応じた活動が困難な地区をモデル地区とする方針が提言されました。今後の方針は。

フリースクールへの支援について

問 令和4年6月定例会で、市教育委員会としてフリースクールとの連携が必要であり、取組を学校教職員、児童保護者に周知していくとの答弁をいただいたが、これまでの取組と実績は。



伊勢崎クラブ 定方 宏允



動画はこちら

し合いを進め、その上で、市内小中学校、中等教育学校の校長が集まる校長会議の場で、フリースクールの職員から直接事業内容を説明していただき、フリースクールに対する理解を深める機会を設定しました。また、ほつとるの職員とフリースクールの職員との懇談の場を設け、子供の状況に応じた不登校支援の在り方について情報交換を行いました。フリースクールの職員と学校関係者との連携が進んだことで、フリースクールにおける学習状況が把握できるようになり、不登校の子供がフリースクールに通った日は学校の出席扱いとするケースが増えています。

その他の質問

- おくやみ窓口について
- ごみ減量化について



生徒の多様なニーズに応じた部活動を

外国籍住民と行政区が相互理解するための支援策は

外国籍住民増加の影響について

問 外国籍住民について行政区別世帯数の状況とその所感は。

答 本年8月の住民基本台帳人口世帯表を基に、行政区別の外国人世帯数が多い順に八斗島町区、富塚町区、山王町区、今泉町一丁目区、除ヶ町区となっています。なお、世帯数は少ないものの世帯割合が大きい地域では、日本人と外国籍住民との共生がより必要であると考えており、区からの要望に対し支援をしていきます。

外国籍住民の滞納世帯数が増加傾向にあるようだが納税状況は。

答 国籍に関係なく滞納者の方の実情を一人一人把握した上で法令に基づき丁寧に対応を行っています。そのため国籍で区分した納税状況の集計は行っていません。

外国籍住民とそこに住む日本人住民との相互理解が不可欠である。地域社会の理解を高めるための支援策は。

答 本市に転入した外国籍住民には、生活に必要な手続等をまとめたら言語の外国人生活ガイドブックを配布し、また、地域でのトラブルを防ぐため、みんなであつくり伊勢崎市多文化共生のまちづくりというリーフレットを作



会 志 堀 地 和 子



動画はこちら

成し全戸配布しました。事業として、外国人向け生活オリエンテーションや外国人講師による多文化理解講座を開催し、外国籍住民と近隣住民との相互理解に努め、また、新たに就任された区長へは、日本人住民と外国籍住民がコミュニケーションを図るきっかけとなるよう簡単な会話を6言語で掲載した指差し会話集を配布しました。本年度は、希望する行政区に音声自動翻訳機の貸出しをできるように準備を進め、地域でのコミュニケーションづくりにつなげていただきたいと思います。

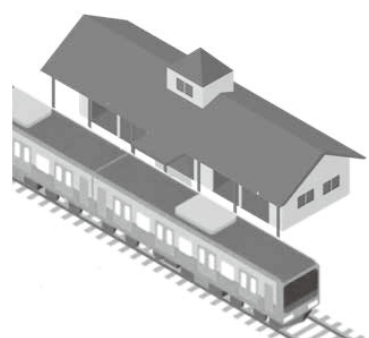
その他の質問

- 行政役員及び各種委員の成り手不足について
- 花火大会観覧席の有料化について
- 市内道路の草刈り除草について
- 北部環状線の市施行区間について



多文化共生のために支援策を

問 令和4年9月定例会では、鉄道利用者に対する助成導入は先進地自治体の動向を調査するとともに、東武鉄道整備促進期成同盟会と連携して調査研



東武鉄道の利用者増に向けた取組を

東武鉄道の利便性向上について

問 公共交通の役割はさらに高くなっていくと考え、中でも本市に路線をもつ東武伊勢崎線、JR西毛線は本市公共交通の要となる役割があると感じている。令和4年9月定例会では、東武鉄道の増発に関しては東武鉄道整備促進期成同盟会を通じて、引き続き特急りょうもう号の増発等について要望活動を継続して行っていく旨の答弁をいただいたが、要望活動の成果は。また、市民が日常的に利用する普通電車に関する要望は実施していないか。

答 昨年度の要望の結果、本年3月に、東武鉄道株式会社から観光誘客の促進につながる企画を検討していくことや、利用者の動向を注視し勘案していくこと、利用者の利便性向上のために協力していく等の回答をいただきました。今後も引き続き、特急りょうもう号の増発等を要望していくとともに、普通電車における通勤通学時間帯でのダイヤの拡充、乗り換えの要らない直通運行、各路線の利便性向上等の要望も行っていきます。

その他の質問

- ISECAについて
- 放課後児童クラブにおける障害児の受入れについて
- 発達障害の傾向がある児童への対応について



災害時障がい者支援 バンダナ配備の考えは

防災対策について

問 災害時障がい者支援バンダナは障がいのある方、妊婦、要支援者が災害時に身に付けることで支援が必要であることを周囲に伝え、支援を受けやすくするものである。お知らせ絵カードは絵や文字を必要とする人のためにいろいろな場面をまとめた絵カードで、聴覚障害の方、日本語が分からない方にお知らせするものである。誰一人取り残されないように指定避難所へこれらを配備することが必要だが、考えは。

答 関係機関と連携を図りながら、災害時障がい者支援バンダナを導入し、対象者への配布及び避難所への配備に向けて取り組んでいきます。また、障害者団体、手話通訳者等の意見も伺い、お知らせ絵カードの避難所への配備も併せて検討し、災害時における障害のある方への更なる支援の拡充に取り組んでいきます。



党 明 田部井美晴



動画はこちら

紙おむつは保護者が持ち帰るルールを見直す自治体が増えており、本市の保育施設でも必要と考えるが、現状は。

答 本年1月の国からの事務連絡を受け、市内の私立保育施設に対してアンケートを実施し、結果、保護者による持ち帰りをしている施設の約半数が、使用済み紙おむつの保管場所や衛生管理を可能とする保管用ごみ箱等の購入費用の助成等を求めている状況です。

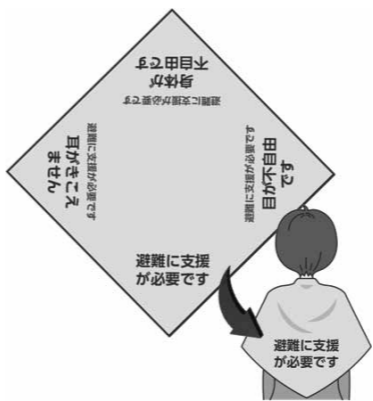
今後の考えは。

問 市内保育施設における園処分に向けた支援等について、他市の事例やアンケートによる調査結果も踏まえ、引き続き検討していきます。

その他の質問

●HPVワクチン接種について

●自転車ヘルメット購入補助について



災害時障がい者支援バンダナイメージ

夏休みの給食提供に 取り組む考えは

夏休みにおける給食提供について

問 給食提供のない8月も通常時と同じく小中学校共に給食費を負担していることを疑問に思う保護者が多くいるが、8月に給食費を負担する理由は。

答 学校給食費は年額を分割して納付することとしていることから、12月で除したものを月額として徴収しています。小学校の入学説明会で徴収額や口座振替の手続案内を行っています。それに加え、夏季休業中に徴収する理由について、今後ホームページを通じて分かりやすく周知していきます。

夏休みの給食提供は、子供たちの健康維持増進、保護者の負担軽減、貧困、虐待のある家庭への支援ともなり、メリットが多くある。時代のニーズに合った施策だが、考えは。

答 夏季休業中は各学校給食調理場ともに、学期中に実施困難な施設設備の工事や厨房機器等の入替作業の実施、食器や調理器具等のメンテナンス、厨房内の清掃、保守点検などを行っているため、夏季休業中に学校給食調理場を稼働させることは考えていません。

子ども基本法施行に伴う市の取組について

問 子ども基本法第11条の内容は、こ



安定的な給食提供を

その他の質問

●柴崎医院跡地について

●災害対策について

子ども施策に子供の意見を反映させるというところで、そこが今まではない大きな焦点である。本市でも子育て当事者の声を聞く機会があるが、今後はより子供を中心とした取組が求められる。子供自身が主体的に本市の事業に対して、企画を立案し、実行にも関わられる取組を行っていくことだが、考えは。この質問を起点に準備をしつつ、子供自身も真ん中で事業を考えてもらえるよう子育て世代当事者代表として質問します。

今後の国の動向を注視し、関係機関からの情報を的確に捉えるとともに、他の自治体の対応や関連情報の収集に努めていきます。

市民の声を反映したデマンドタクシー利用の検討を

デマンドタクシーについて

問 交通弱者対策のデマンドタクシーを本市でも実施して欲しいとの要望が寄せられてきた。この声を受けて来年秋からの実施の方針が出され、具体的な検討が始まっているが、デマンドタクシーの公共交通の中での位置づけについて考えは。

答 各公共交通事業者の特徴や役割を踏まえ、市民の利便性の向上や、公共交通事業者と連携、共存を図りながら、一定の条件を満たす高齢者や障害のある方に対する移動サービスの一つの手段として位置づけたいと考えています。

問 伊勢崎市地域公共交通会議の原案では、運行方式が民間タクシー70台ほどを使い、年間の上限利用回数を70回と想定しているが需要は満たされるのか。また、予約方式や乗車賃の一部補助等の考えは。

答 県タクシー協会との協議で、常時運行可能である全ての車両を対象とし、検討を進めていきます。今後はタクシー事業者と協議を重ねて、登録者の利用状況に応じた必要台数を検討していきます。また、予約方法、利用回数及び利用者の利用料金は、現在検討中です。

個人認証のためにマイナンバーカード



日本共産党議員団 長谷田公子



動画はこちら

ードを利用条件とするとのことだが、これではカードを持っている人しか乗れない。マイナンバーカードの取得や所持を利用条件にするのはいかがなものかと思う。個人認証や利用回数の管理のデマンドカードなどマイナンバーカード利用ではない安心安全で分かりやすい別方式を検討すべきだが、考えは。

答 市民の利用のしやすさ等様々な観点から、別のカードを利用する案についても選択肢の一つとして検討していきます。

その他の質問

●投票率向上対策について

●学校における化学物質過敏症への対応について

●インボイス制度導入への対応について



利用しやすいデマンドタクシーを

決算特別委員会審査

本会議で決算特別委員会に付託された議案について慎重に審査を行いました。主な質疑及び結果概要は次のとおりです。

一般会計

歳入

市税

問 市民税のうち、個人市民税の増額理由は。

答 課税の対象となる給与所得が対前年度比2・3%増加したことに伴い、給与所得に対する課税額が対前年度比1・7%増加したためです。

法人市民税の増額理由は。

答 新型コロナウイルス感染症の影響からの回復傾向を受け、製造業を中心とした企業の業績が堅調に推移したためです。

問 固定資産税のうち、現年課税分の増額理由は。

答 家屋及び償却資産において、新型コロナウイルス感染症の影響により事業収入が減少した中小事業者等に対する軽減措置が、令和3年度のみで終了となったことが主な理由です。

問 入湯税のうち、対象となる事業所数及び申告の妥当性は。

答 2事業者が対象となり、定期的に現地調査を行い、事業者が管理してい

る入湯客数、入湯料金及び税額を記載した帳簿と市に提出された入湯税納入申告書の内容の整合を確認しています。

分担金及び負担金

問 放課後児童クラブ利用者負担金の減免状況は。

答 全利用者776人のうち、生活保護世帯に属する方が1人、市民税非課税世帯に属する方が70人、市民税均等割のみ課税世帯に属する方が13人の合計84人、10・8%の方が減免となっています。

諸収入

問 雑入のうち、ネーミングライツ収入の効果及び施設名の周知は。

答 各施設の維持管理運営事業等に充当し、貴重な財源として活用しており、ホームページ、SNS及び施設職員のアピールを用いての電話応対などにより、周知に努めています。

公共施設管理公社受入金の内容は。

答 伊勢崎市華蔵寺公園遊園地の管理に関する年度協定に基づき3000万円を基本としているものの、令和4年度においては、コロナ禍でありながら社会活動の回復により、来園者が増加傾向であったことに加え、指定管理者の自主的な経営努力の結果、3120万円の受入額となったものです。

市債

公立保育所耐震化事業債を活用し



動画の内容は公式記録ではありません

水道事業
企業会計
介護保険
特別会計

後期高齢者医療
特別会計

学校給食センター事業費
特別会計

民生費
歳出

総務費
歳出

一般会計
歳出

民生費
歳出

水道事業
企業会計
介護保険
特別会計

後期高齢者医療
特別会計

学校給食センター事業費
特別会計

民生費
歳出

総務費
歳出

一般会計
歳出

民生費
歳出

令和4年度 各会計決算

(単位：円)

会計名	歳入決算額	歳出決算額	差引残額		
一般会計	83,181,497,899	79,787,699,755	3,393,798,144		
特別会計	小型自動車競走事業費	24,982,420,658	24,726,546,369	255,874,289	
	学校給食センター事業費	2,141,703,750	2,117,344,873	24,358,877	
	国民健康保険	20,076,238,875	19,749,353,476	326,885,399	
	後期高齢者医療	2,622,052,079	2,604,470,169	17,581,910	
	介護保険	17,685,008,375	17,046,533,015	638,475,360	
企業会計	水道事業	収益的	4,400,454,386	3,754,925,253	645,529,133
		資本的	1,151,630,750	3,036,389,166	△ 1,884,758,416
	公共下水道事業	収益的	2,715,518,329	2,483,345,063	232,173,266
		資本的	1,817,883,890	2,795,119,131	△ 977,235,241
	農業集落排水事業	収益的	411,433,229	360,981,020	50,452,209
		資本的	214,270,000	324,293,328	△ 110,023,328
	特定地域生活排水処理事業	収益的	13,677,787	12,584,708	1,093,079
		資本的	6,329,000	9,615,213	△ 3,286,213
	病院事業	収益的	18,043,199,053	17,304,970,962	738,228,091
		資本的	819,062,000	1,538,752,528	△ 719,690,528



決算特別委員会

- 決算特別委員会名簿** ◎委員長・○副委員長
- ◎宮田芳典 椎名三生 堀地和子
 - 山越清彦 鈴木良尚 馬庭充裕
 - 新井 智 高橋宜隆 柳 敦志
 - 飯島 学 田島 勉
 - 内田 彰 多田 稔
 - 北島元雄 田部井美晴
 - 栗原真耶 田村幸一
 - 小暮笑鯉子 手島良市
 - 定方宏允 野田文雄
 - 佐藤智則 長谷田公子

公共下水道事業
企業会計

病院事業
企業会計

公共下水道事業
企業会計

公共下水道事業
企業会計

公共下水道事業
企業会計

公共下水道事業
企業会計

公共下水道事業
企業会計

公共下水道事業
企業会計

公共下水道事業
企業会計

公共下水道事業
企業会計

公共下水道事業
企業会計

公共下水道事業
企業会計

公共下水道事業
企業会計

公共下水道事業
企業会計

公共下水道事業
企業会計

公共下水道事業
企業会計

公共下水道事業
企業会計

公共下水道事業
企業会計

公共下水道事業
企業会計

公共下水道事業
企業会計

公共下水道事業
企業会計



常任委員会審査

本会議で常任委員会に付託された議案などについて慎重に審査を行いました。主な質疑及び結果概要は次のとおりです。

総務委員会

伊勢崎市火災予防条例の一部を改正する条例案

固体燃料を用いた炭火焼き器等の厨房設備の建築物等からの離隔距離を新たに定める理由は、

現行では離隔距離の規定がなく、法律上分類されないものとして2メートルから3メートルの離隔距離が求められていたことで、設置に支障を来していたが、防火上の安全措置が講じられたものもあることから、新たに離隔距離を定めるものです。

令和5年度伊勢崎市一般会計補正予算(第1号)

交通対策事業における工事請負費の内容は、

総合教育センター北無料駐車場の舗装工事で、国土交通省の定める駐車スペースの基準を満たすよう白線を引き直すほか、駐車場南側への車止めの設置、進入禁止の路面標示及びガードレール等を設置するものです。

児童厚生施設管理運営事業における工事請負費の内容は、

経済市民委員会

伊勢崎市印鑑条例の一部を改正する条例案

改正の内容は、
住民基本台帳法の改正に伴い、利用者証明用電子証明書が記録された移動端末設備を利用した証明書コンビニ交付サービスによる印鑑登録証明書の交付が可能となったことから、関連する条文の改正を行ったものです。

電子証明書の内容は、

電子証明書は、公的個人認証サービスにて発行されているもので、マイナンバーカードのICチップ及びスマートフォンに記録することが可能となっており、ウェブサイトにログインする際、マイナンバーカード交付時に設定した4桁の暗証番号を入力することにより、利用者本人であることの証明ができるものです。

伊勢崎市民プール解体整地工事請負契約の締結について

工事期間及び跡地の利用は、
工事期間は議決後から令和6年3月15日までを予定しており、跡地は駐車場とすることから、令和6年度に駐車場整備工事を予定しています。

公の施設の指定管理者の指定について(伊勢崎市文化会館)

人件費及び光熱水費の金額は、
令和6年度から令和10年度までの

境児童館どんぐりにおいて、空調の室内機2台及び室外機1台を改修するもの並びに児童センターにおいて、本年2月に凍結により破裂した、温水の圧力上昇を抑えるための膨張タンクの配管を改修するものです。

こども発達支援センター管理運営事業における備品購入費の内容は、

こども発達支援センターにおける相談業務において、知能検査に使用する備品として、ウィスク・ファイブという最新の機器に対応する分析ソフトの発売開始に伴い、当該検査キット一式を購入するものです。

和解及び損害賠償の額を定めることについて

職員に対する安全運転の啓発は、
各職場において職場研修等を行っているほか、新入職員に対して公用車の事故事例及び公用車運転の際の注意事項等の座学並びに公有施設の駐車場における運転技能研修を一人一人実施しています。

付託された4議案は、原案のとおり可決すべきと決定しました。

文教福祉委員会

伊勢崎市福祉作業所条例の一部を改正する条例案

在宅重度心身障害者等デイサービス事業の統合に伴う、桑の実福祉作業

5年間における人件費は、6億375万5000円、光熱水費は、2億3868万円となっています。

文化会館の人員体制は、

令和4年度は、正職員が11人、再任用職員が1人、常勤アルバイトが4人、令和5年度は、正職員が11人、再任用職員が1人、常勤アルバイトが2人です。

公の施設の指定管理者の指定について(伊勢崎市境総合文化センター)

人件費及び光熱水費の金額は、
令和6年度から令和10年度までの5年間における人件費は2億1578万5000円、光熱水費は、90098万5000円となっています。

公の施設の指定管理者の指定について(伊勢崎市華蔵寺公園遊園地)

遊員の定期点検は、
定期点検は年4回実施しており、その他に探傷検査として、ジェットコースターは毎年、急流すべりは3年ごと、サイクルモノレールは5年ごとに点検を行っています。

人件費及び光熱水費の金額及び前回の指定管理期間からの増減は、
令和6年度から令和10年度までの5年間における人件費は、4億9292万円、光熱水費は、8947万円となっており、人件費は0・3%の減、光熱水費は1・2%の増です。

所の受入れ対応は、

車椅子利用者等を受け入れることに伴い、スロープの設置等軽微な修繕により段差解消を図るほか、来年度以降も総合計画に基づき、シャワースペース及びトイレ等の大規模修繕を計画的に実施することで施設側と協議を進めています。

統合に伴う経費の削減見込みは、

年間で約600万円削減できる見込みです。

令和5年度伊勢崎市介護保険特別会計補正予算(第1号)

繰越金の増額理由は、

歳入においては、第1号被保険者の増加、市民税課税となる被保険者の増加及び普通徴収における収納率が向上したためです。また、歳出においては、計画策定時に想定外だった新型コロナウイルス感染症の第7波及び第8波の流行時に、特に通所系サービスの利用控えが顕著であったことに伴い、介護保険給付費の交付が伸びなかったためです。

公の施設の指定管理者の指定について(伊勢崎市児童センター、伊勢崎市境児童センター)

利用者減少対策としてのニーズの把握及び対応は、
施設利用者に対して利用することにアンケートを取ることでニーズを把握し、低年齢または低学年向けの事業

光熱水費が他の同様の施設と比べ、増額となる理由は、
市民プラザは本館と体育館に分かれており、エアコンの設置台数が多く、調理室や電気釜などの特殊設備もあるためです。

公の施設の指定管理者の指定について(伊勢崎市民プラザ)

人件費及び光熱水費の金額及び前回の指定管理期間からの増減は、
令和6年度から令和10年度までの5年間における人件費は、2億3475万5000円、光熱水費は、7678万5000円となっており、人件費は4%の増、光熱水費は44%の増です。

光熱水費が他の同様の施設と比べ、増額となる理由は、

市民プラザは本館と体育館に分かれており、エアコンの設置台数が多く、調理室や電気釜などの特殊設備もあるためです。

付託された6議案は、原案のとおり可決すべきと決定しました。

建設水道委員会

伊勢崎市宮住宅設置条例の一部を改正する条例案

安堀改良住宅の廃止に至る経緯は、
調査において耐震性が不十分であることが確認されたため、順次、入居者の移転を進め、令和3年8月に全ての入居者の退去完了後、令和4年度に解体に係る工事設計を委託し、本年4月に当該住宅の用途廃止を決定した後、国への報告を行ったことにより廃止が確定しました。

安堀改良住宅の解体後の土地活用

を多く実施してきました。

利用者の事故対応は、

緊急時には当該施設に設置しているAEDにより効果的に対応しているほか、個々の職員が研修を受けた上で対応に当たっています。

公の施設の指定管理者の指定について(伊勢崎市中びつセンター)

個別施設計画における施設の廃止または売却する計画の期間と指定管理期間の重複に対する考えは、

指定管理者候補者である福島町区と、施設の譲渡を含めた協議を指定管理期間に合わせて行っています。

公の施設の指定管理者の指定について(伊勢崎市ふくしプラザ)

指定管理者が負担する修繕費は、
5年間の指定管理期間において、年間50万円までが指定管理者の負担となります。

公の施設の指定管理者の指定について(伊勢崎市ふれあいセンター)

施設利用者の声を反映する機会は、
施設窓口及び高齢政策課において直接意見を受けることも、月1回設けている指定管理者との会議において利用者の意見を反映することを考えています。

付託された12議案は、原案のとおり可決すべきと決定しました。

は、

好条件な立地であることから、市営住宅の統廃合及び建て替えの際の候補地として維持管理を行っていきます。

市道路線の廃止について

廃止の経緯は、
民間開発事業に伴い、開発区域内を一体利用するためです。

付託された2議案は、原案のとおり可決すべきと決定しました。

特別委員会調査

各特別委員会で、次のとおり調査が行われました。

地域交通対策調査特別委員会

日時 令和5年9月14日
調査事項 コミュニティバスあおぞらダイヤ等の改正について、デマンド交通の実施に関する検討について

議会改革推進特別委員会

日時 令和5年9月25日
調査事項 議会基本条例に基づく今後の議会改革の取組について

特別委員会の次回開催予定及び開催状況については市のホームページで知らせています。



議案番号	議案名	付託委員会	議決日	結果
107	公の施設の指定管理者の指定について(伊勢崎市民プラザ)	経済市民	9.28	●
108	市道路線の廃止について	建設水道	9.28	●
109	農業委員会委員任命の同意について 羽鳥 裕子(南千木町)	付託なし	9.28	●
110	農業委員会委員任命の同意について 大島 清孝(中町)	付託なし	9.28	●
111	農業委員会委員任命の同意について 根岸 英恭(国定町一丁目)	付託なし	9.28	●
112	農業委員会委員任命の同意について 井田 利子(香林町二丁目)	付託なし	9.28	●
113	農業委員会委員任命の同意について 町田 俊一(境島村)	付託なし	9.28	●
114	農業委員会委員任命の同意について 清水 保美(境東新井)	付託なし	9.28	●
115	農業委員会委員任命の同意について 藤村 辰雄(境上矢島)	付託なし	9.28	●
116	農業委員会委員任命の同意について 菊池 義昌(北千木町)	付託なし	9.28	●
117	農業委員会委員任命の同意について 千吉良 裕一(連取町)	付託なし	9.28	●
118	農業委員会委員任命の同意について 重田 博之(三和町)	付託なし	9.28	●
119	農業委員会委員任命の同意について 小林 克巳(間野谷町)	付託なし	9.28	●
120	農業委員会委員任命の同意について 長谷川 充良(境下武士)	付託なし	9.28	●
121	農業委員会委員任命の同意について 斎藤 春幸(下蓮町)	付託なし	9.28	●
122	農業委員会委員任命の同意について 田村 光一(小泉町)	付託なし	9.28	●
123	農業委員会委員任命の同意について 細井 喜也(波志江町)	付託なし	9.28	●
124	農業委員会委員任命の同意について 尾内 茂男(田部井町二丁目)	付託なし	9.28	●
125	農業委員会委員任命の同意について 小林 恵一(磯町)	付託なし	9.28	●
126	農業委員会委員任命の同意について 木村 佳正(市場町一丁目)	付託なし	9.28	●
127	農業委員会委員任命の同意について 高橋 勝己(東小保方町)	付託なし	9.28	●
128	人権擁護委員候補者の推薦について 小野田 幸夫(寿町)	付託なし	9.28	●
129	人権擁護委員候補者の推薦について 茂木 裕代(野町)	付託なし	9.28	●
130	人権擁護委員候補者の推薦について 新井 幸一(東町)	付託なし	9.28	●

請願

●…採択 →…継続審査 ×…不採択 —…審査未了

受理番号	件名	付託委員会	結果
1	子どものために保育士配置基準の引き上げによる保育士増員を求める意見書の提出を求める請願	文教福祉	→
4	消費税率を5%に引き下げ、複数税率廃止・インボイス制度の実施中止を求める意見書を政府に送付することを求める請願	総務	×

陳情

・最低賃金法の改正と中小企業支援の拡充を求める陳情(第7号/経済市民委員会)

市長からの報告

- ・8月31日 和解及び損害賠償の額を定めることについての専決処分の報告について 4件(第11号~第14号)
市営住宅の管理上必要な訴え(和解を含む)の提起についての専決処分の報告について 2件(第15号、第16号)
令和4年度伊勢崎市土地開発基金運用状況について(第17号)
令和4年度伊勢崎市美術品等取得基金運用状況について(第18号)
令和4年度伊勢崎市健全化判断比率の報告について(第19号)
令和4年度伊勢崎市資金不足比率の報告について(第20号)
- ・9月25日 和解及び損害賠償の額を定めることについての専決処分の報告について(第21号)

議案等の議決結果

市長提出議案

●…賛成全会一致 ○…賛成多数 ×…否決

議案番号	議案名	付託委員会	議決日	結果
73	令和5年度伊勢崎市一般会計補正予算(第5号)の専決処分の承認について	付託なし	8.31	●
74	令和4年度伊勢崎市一般会計歳入歳出決算認定について	決算特別	9.28	○
75	令和4年度伊勢崎市小型自動車競走事業費特別会計歳入歳出決算認定について	決算特別	9.28	○
76	令和4年度伊勢崎市学校給食センター事業費特別会計歳入歳出決算認定について	決算特別	9.28	●
77	令和4年度伊勢崎市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	決算特別	9.28	○
78	令和4年度伊勢崎市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	決算特別	9.28	○
79	令和4年度伊勢崎市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	決算特別	9.28	○
80	令和4年度伊勢崎市水道事業の決算認定について	決算特別	9.28	●
81	令和4年度伊勢崎市公共下水道事業の決算認定について	決算特別	9.28	●
82	令和4年度伊勢崎市農業集落排水事業の決算認定について	決算特別	9.28	●
83	令和4年度伊勢崎市特定地域生活排水処理事業の決算認定について	決算特別	9.28	●
84	令和4年度伊勢崎市病院事業の決算認定について	決算特別	9.28	●
85	伊勢崎市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例案	総務	9.28	●
86	伊勢崎市印鑑条例の一部を改正する条例案	経済市民	9.28	●
87	伊勢崎市福祉作業所条例の一部を改正する条例案	文教福祉	9.28	●
88	伊勢崎市営住宅設置条例の一部を改正する条例案	建設水道	9.28	●
89	伊勢崎市火災予防条例の一部を改正する条例案	総務	9.28	●
90	令和5年度伊勢崎市一般会計補正予算(第6号)	総務	9.28	●
91	令和5年度伊勢崎市介護保険特別会計補正予算(第1号)	文教福祉	9.28	●
92	伊勢崎市民プール解体整地工事請負契約の締結について	経済市民	9.28	●
93	和解及び損害賠償の額を定めることについて	総務	9.28	●
94	公の施設の指定管理者の指定について(伊勢崎市青少年育成センター)	文教福祉	9.28	●
95	公の施設の指定管理者の指定について(伊勢崎市児童センター、伊勢崎市境児童センター)	文教福祉	9.28	●
96	公の施設の指定管理者の指定について(伊勢崎市ちびっこセンター)	文教福祉	9.28	●
97	公の施設の指定管理者の指定について(伊勢崎市福祉作業所)	文教福祉	9.28	●
98	公の施設の指定管理者の指定について(伊勢崎市桑の実福祉作業所)	文教福祉	9.28	●
99	公の施設の指定管理者の指定について(伊勢崎市ふくしプラザ)	文教福祉	9.28	●
100	公の施設の指定管理者の指定について(伊勢崎市ふれあいセンター)	文教福祉	9.28	●
101	公の施設の指定管理者の指定について(伊勢崎市みやまセンター、伊勢崎市高齢者生きがいセンター)	文教福祉	9.28	●
102	公の施設の指定管理者の指定について(伊勢崎市境社会福祉センター)	文教福祉	9.28	●
103	公の施設の指定管理者の指定について(伊勢崎市境地域福祉センター)	文教福祉	9.28	●
104	公の施設の指定管理者の指定について(伊勢崎市文化会館)	経済市民	9.28	●
105	公の施設の指定管理者の指定について(伊勢崎市境総合文化センター)	経済市民	9.28	●
106	公の施設の指定管理者の指定について(伊勢崎市華蔵寺公園遊園地)	経済市民	9.28	●

議会基本条例 逐条解説(第7章～第9章)



伊勢崎市議会基本条例の詳細や条文についてはQRコードから市のホームページにてご覧ください。

第7章 災害時の対応

第24条 災害時の対応を規定した条文です。

大規模な災害が発生し、伊勢崎市災害対策本部が設置された場合の議会の対応について述べています。また、大規模災害が発生した際の議会及び議員の対応及び行動基準を別に定めることを述べています。

第8章 議員の政治倫理

第25条 議員の政治倫理を規定した条文です。

議員は市民の代表者として、市民からの負託を受けていることをしっかりと認識したうえで、良心と高い倫理性を持って職務を全うしていくことを述べています。

第9章 最高規範性並びに条例の検証及び見直し

第26条 最高規範性を規定した条文です。

本条例が伊勢崎市議会の基本的理念を定めている最高規範であり、議会に関する条例等を定めたり、改正及び廃止したりする場合は、本条例の内容との整合を図ることを述べています。

第27条 条例の検証及び見直しを規定した条文です。

議会は、第1条で定めた本条例の目的が達成されているかを検証すること、その結果を市民に公表することを述べています。検証の結果、制度を見直す必要があれば本条例の改正を含め適切な措置を取ることを述べています。



マチイロで市議会いせさき

無料アプリ **マチイロ** を利用して、スマートフォンやタブレット端末で市議会いせさきをいつでもどこでも読むことができます。

マチイロの主な特徴

- 市のホームページに接続しなくてもアプリで広報紙を読めます。
- ページめくりや拡大・縮小などの操作も簡単にできます。
- 気になる記事はメール添付やSNSの投稿などに利用できます。

利用までの流れ

- ①App Store・Google Playで**マチイロ**を検索し、アプリをダウンロード。
- ②個人設定で「お住まいの地域」などを設定。
- ③登録完了。発行日に最新の広報紙が配信されます。



※アプリのダウンロード及び利用は無料ですが、情報を受信する際の通信料は利用者の負担です。また、アプリで表示される広告は伊勢崎市議会とは関係ありません。

本会議をインターネット配信しています

本市議会は開かれた議会を目指して、本会議のインターネット配信をしています。パソコン、スマートフォン等により、生中継のほか、録画配信で本会議の様子をご覧いただけます。また各議員の一般質問の録画配信映像のページには、一般質問の見出しにあるQRコード(P3～9参照)から直接アクセスできます。なお、各定例会の次の定例会の頃には、字幕付きでご覧いただけます。



次回定例会に係る会議日程(予定)

11/24	金	議会運営委員会
11/30	木	本会議
12/ 4	月	本会議(一般質問)
12/ 5	火	本会議(一般質問)
12/ 7	木	総務委員会
12/ 8	金	文教福祉委員会
12/11	月	経済市民委員会
12/12	火	建設水道委員会
12/13	水	議会運営委員会
12/18	月	本会議

会派構成の変更

会派構成に変更がありました。
(令和5年8月10日現在)

有志会

○田村幸一 堀地和子 小暮笑鯉子 高橋宜隆
※○…代表者

